

事務事業評価表 平成24年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実
 施策 子育て環境の充実
 基本事業 地域子育て支援の充実

事業名 **親と子の絵本事業**

[0859]

部名	健康福祉部	事業開始年度	平成20年度	実施計画事業認定	非対象
課名	子育て支援室子ども家庭課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果		
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 満1歳未満の乳児及びその保護者	(事務事業の内容、やり方、手段) 「こんにちは赤ちゃん事業」との連携により 対象家庭を訪問し、絵本を配布する。 また、4か月健康診査において、情報図書館の協力により絵本の読み聞かせや絵本紹介を行う。 主任児童委員を中心に対象家庭を訪問し、絵本を配布する。
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 親が自分の肉声と音律で子どもに絵本等を読み聞かせ、親子のコミュニケーションの時間を共有する。そのことにより豊かな情感の交流やゆとりが親子にもたらされることを期待し、子育て支援の一助とするとともに、子どもの読書を考える契機とする。	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	満1歳未満の乳児及びその保護者数	人	706	795	761	795
対象指標2						
活動指標1	訪問世帯数	世帯	694	783	746	795
活動指標2						
成果指標1	訪問割合	%	98	98	98	100
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	958	824	961	955
正職員人件費 (B)		千円	415	403	803	809
総事業費 (A) + (B)		千円	1,373	1,227	1,764	1,764

費用内訳	
23年度	需用費 961千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	市域全体で子育て支援の機運を高めるため、市内企業等の協賛を得ながら事業を開始することとなった。	事業を取り巻く環境変化	
--------	---	-------------	--

23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

親と子のふれあいを深める手段として、絵本の配布を通じてそのきっかけづくりを行うことは、子育て支援の手法として意義がある。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

親と子のふれあいを深める手段として、絵本を通じてコミュニケーションが図れ、子育て支援の一助に繋がる。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

絵本の提供により親子のコミュニケーション、豊かな情感交流等の一助となった。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

絵本の読み聞かせを通じて親子の間にゆったりとしたふれあいが育まれることは、子育て支援の一助として重要であり、当事業の浸透によりその効果の向上が期待できる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

こんにちは赤ちゃん事業と連動して実施することによりコストの削減を図っている。